

ぐんまのスポーツ

題字 児玉三郎会長

平成28年12月9日 第101号

発行／(公財)群馬県スポーツ協会 〒371-0047 前橋市関根町800 ALSOKぐんま総合スポーツセンター内
TEL. 027-234-5555 FAX. 027-234-5926 E-mail g-spokyou@gunma-sports.or.jp
ホームページ <http://www.gunma-sports.or.jp/>

2028年 第83回国民体育大会招致要望書を提出

国民体育大会は、昭和21年の第1回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として、広く国民にスポーツを普及することに寄与してきました。

群馬県では昭和58年に「風に向かって走ろう」をスローガンに第38回国民体育大会（あかぎ国体）を開催しましたが、選手・指導者の養成や施設の整備が飛躍的に進み、その後の本県スポーツ振興の源となっています。

2020年東京オリンピック・パラリ

ンピックが開催されることにより、スポーツに大きな関心が集まるとともに、スポーツはもとより健康・経済・文化等の様々な分野に有益な遺産（レガシー）が形成されることが期待されています。

そうした中で、2028年の第83回国民体育大会を本県に招致することは、未来を担う子ども達の大きな目標となり、選手・指導者の育成による本県スポーツの飛躍的なレベルアップやスポーツ人口の大幅な拡大に繋がることを確信しています。

加えて、スポーツを通じた健康づくり・人づくりなどが大きく進むとともに、地域の活性化や観光振興が促進され、スポーツを始めとする本県の幅広い分野における振興・発展に大変意義あることと考えています。

こうしたことから、2028年の第83回国民体育大会を群馬県に招致することについて、平成28年6月29日に群馬県、群馬県教育委員会、群馬県議会に対して、要望書を提出しました。



▲大澤正明知事に要望書を提出する児玉会長
(右から) 大澤正明知事、児玉会長、渡辺副会長、須藤副会長、野本理事長



第71回 国民体育大会

男女総合成績(天皇杯) 25位 女子総合成績(皇后杯) 25位

第71回国民体育大会は、「希望郷いわて国体」という愛称に「広げよう感動。伝えよう感謝。」をスローガンとして、冬季大会・本大会ともにすべての競技が岩手県内各地で開催された。

本県は、冬季大会終了時で、男女総合成績17位、96.5点でのスタートとなった。本大会では34競技、354人の選手団を編成し、今年も男女総合成績10位台を目標に臨んだ。

会期前実施競技では水泳競技が開催され、競泳3種目と今大会から正式競技となったオープンウォータースイミングの優勝を含め、計16種目が入賞し、103点を獲得した。

本大会開会式は、10月1日(土)に、岩手県北上市の北上総合運動公園北上陸上競技場で開催され、群馬県選手団現地激励会では、児玉団長を始め、佐藤県生活文化スポーツ部部長、橋爪県議会副議長、笠原県教育長の激励をいただいた。開会式の入場行進では、約70人が颯爽と行進した。

本大会前半では、個人競技の馬術競技の少年団体障害飛越競技が優勝し、ウエイトリフティング競技やライフル射撃競技など3種目が入賞した。団体競技では、フェンシング競技やソフトボール競技、軟式野球競技など7種目が入賞し、合計10種目が入賞した。

後半では、個人競技で陸上競技が2種目、レスリング



▲旗手を務めたソフトボール競技 成年男子の小田澤直紀

技や自転車競技、ボウリング競技の3種目が優勝し、ボート競技や空手道競技など26種目で入賞した。団体競技では、自転車競技が優勝し、カヌー競技やアーチェリー競技など、9種目が入賞し、合計41種目で入賞を果たした。

全日程を終えた結果、本大会では男女総合成績30位837.5点、女子総合成績26位517.5点となり、第71回国民体育大会は、男女総合成績25

位934点、女子総合成績25位565.5点となった。昨年の結果と比べ、男女総合成績は3位下がって63.5点減、女子総合成績は6位下がって3.5点減となり、本県の目標である男女総合成績10位台に及ばなかった。

今回の国体では、優勝種目のほとんどが成年種別であり、活躍が光った。少年種別では、馬術競技の団体障害飛越競技と自転車競技の4kmチームパーシュートの2種目であった。2020年の東京五輪、さらに招致を目指す2028年2巡目国体では、小中学生やそれ以下の年代の育成が必要不可欠となる。優れた指導者の確保・育成に努めるとともに、競技力強化・向上を図っていく。

第71回 国民体育大会(希望郷いわて国体)群馬県成績

男女総合成績(天皇杯) 25位 934.0点
女子総合成績(皇后杯) 25位 565.5点

1 競技得点獲得競技(17競技)	男女総合成績(天皇杯)		女子総合成績(皇后杯)		優勝数
	順位	得点	順位	得点	
水泳競技	8位	103.0点	8位	74.0点	4
ソフトボール競技	5位	74.0点	13位	10.0点	
陸上競技	12位	62.0点	12位	37.5点	2
フェンシング競技	4位	58.0点	2位	52.0点	
スキー競技	6位	56.5点	10位	21.0点	1
自転車競技	5位	51.0点	14位	12.0点	2
ボウリング競技	8位	45.0点	20位	10.0点	1
カヌー競技	18位	44.0点	11位	37.0点	
レスリング競技	15位	41.0点	9位	10.0点	1
軟式野球競技	6位	34.0点			
スケート競技	17位	30.0点	14位	27.0点	
ボート競技	16位	30.0点	12位	25.0点	
馬術競技	28位	19.0点	29位	10.0点	1
アーチェリー競技	18位	16.0点	11位	16.0点	
ウエイトリフティング競技	37位	14.0点	17位	10.0点	
ライフル射撃競技	37位	14.0点	24位	14.0点	
空手道競技	27位	12.5点	22位	10.0点	

2 参加点のみ獲得競技(23競技)	男女総合成績(天皇杯)	女子総合成績(皇后杯)
サッカー、テニス、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、セーリング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、柔道、バドミントン、弓道、剣道、ラグビーフットボール、山岳、なぎなた、ゴルフ、トライアスロンの19競技	得点 10.0点	得点 10.0点

アイスホッケー、ボクシング、相撲、クレ射撃の4競技
男女総合成績(天皇杯)
得点 10.0点

3 今回未実施競技(1競技)
銃剣道競技(第72回愛媛国体は、トライアスロン競技が未実施となる。)

※国民体育大会における2020年オリンピック対策として、国体未実施のオリンピック競技種目の内、下記の競技種目を今回より正式競技として実施した。オープンウォータースイミング男女、ボクシング成年女子、レスリング女子、ウエイトリフティング女子、自転車女子、ラグビーフットボール女子(第72回愛媛国体、第73回福井国体では、この他にビーチバレーボール男女が追加される。)



◀水泳（オープンウォーター）女子5km
優勝 貴田裕美（コナミスポーツ）



▲石井飛雄梧（新島学園高）、リトルボーイ号



▲富山公晴（東京農大二高）



▲水泳（競泳）成年女子100m背泳ぎ
優勝 諸貴瑛美（スウィン館林）

▼水泳（競泳）成年女子
100m自由形
優勝 内田美希（東洋大）
54秒17（大会新記録）



▲馬術少年団体障害飛越 優勝
（左から）石井飛雄梧、富山公晴、小林龍平（佐久長聖高）



▲水泳（競泳）成年女子200mフリーリレー 2位（左から）岡野圭穂（筑波大）、諸貴瑛美（スウィン館林）、小池詩音（日本大）、内田美希（東洋大）

群馬県選手団入賞者一覧〈個人種目〉

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	記録	得点
1	陸上	成年男子	円盤投	堤 雄司	群馬総合カドシステム	57m25(大会新)	8
	陸上	成年女子	5000m	西原 加純	ヤマダ電機	15分37秒25	8
	水泳（競泳）	成年女子	50m自由形	内田美希	東洋大4	25秒09	8
	水泳（競泳）	成年女子	100m自由形	内田美希	東洋大4	54秒17(大会新)	8
	水泳（競泳）	成年女子	100m背泳ぎ	諸貴瑛美	スウィン館林	1分00秒32	8
	水泳（OWS）	女子	5km競技	貴田裕美	コナミスポーツ	1時間0分27秒5	8
	レスリング	成年男子	グレコ・マン65kg	松本篤史	ALSOK		8
	自転車	成年男子	スクラッチ	小林泰正	日本体育大4		8
	馬術	少年	団体障害飛越	石井飛雄梧	新島学園高1	8	
				富山公晴	東京農大二高1		
小林龍平				佐久長聖高3			
ボウリング	成年男子	個人戦	石川裕大	市光工業	2082点	8	
2	陸上	少年男子A	400mH	白尾悠祐	東京農大二高2	51秒79	7
	陸上	少年女子共通	棒高跳	諸田実咲	太田女子高3	3m70	6.5
	水泳（競泳）	成年女子	200mフリーリレー	岡野圭穂	筑波大2	1分42秒46	7
				諸貴瑛美	スウィン館林		
				小池詩音	日本大1		
				内田美希	東洋大4		
	水泳（競泳）	少年女子B	100m背泳ぎ	関口真穂	東京農大二高1	1分02秒37	7
	自転車	成年男子	個人ロード・レース	倉林 巧和	群馬グリフィン	3時間17分21秒2	7
	陸上	成年女子	棒高跳	濱名 愛	ベルアルチガワCAC	4m00	6
				河田華佳	共愛学園高3	4分14秒91	6
日比野圭汰				館林高3		5.5	
水泳（競泳）	少年男子共通	400m自由形	近藤ちひろ	中央中等教育4	1分11秒27	5	
水泳（飛込）	少年男子	飛板飛込	大竹玲央	高崎・八幡中3	311.40点	5	
			寺島 渉	館林高3	3分37秒75	5	
			寺田有輝	国土館大1		2.5	
レスリング	成年男子	フリースタイル61kg	寺田 光輝	日本体育大3		2.5	
			小松崎脩司	市立太田高3		2.5	
			塩澤拓馬	市立太田高3		2.5	
			寺田有輝	国土館大1		2.5	

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	記録	得点
5	レスリング	成年男子	グレコ・マン71kg	富塚拓也	県レスリング協会		2.5
	レスリング	成年男子	グレコ・マン75kg	福田 翼	群馬県警察		2.5
	レスリング	少年男子	グレコ・マン65kg	杉木 遥人	前橋西高3		2.5
	ウェイトリフティング	成年男子	クリーン&ジャーケ53kg	山田政晴	群馬総合カドシステム	113kg	4
	ライフル射撃	少年女子	10mS40 JW	小林 真子	明和県東高3	141.2点	4
6	空手道	少年男子	形	菊地凌之輔	前橋工業高2		2.5
	陸上	成年男子	400mH	杉町マハウ	日本ユネスコ専門学校	50秒75	3
	陸上	成年男子	走高跳	高山 豊	しきしま倶楽部	2m09	2.5
	陸上	少年男子共通	800m	堀田哲平	太田東高3	1分53秒70	3
	陸上	成年女子	5000mW	外所知紗	新島学園高3	22分47秒69	3
	水泳（競泳）	少年男子A	200m背泳ぎ	赤坂健太	太田高3	2分03秒53	3
	水泳（競泳）	少年男子B	200m個人メドレー	浮島知稀	前橋育英高1	2分06秒88	3
	水泳（飛込）	少年女子	高飛込	近藤花菜	東京・稲付中3	261.95点	3
	陸上	成年女子	400m	岩田優奈	中央大1	56秒00	2
	水泳（競泳）	少年男子A	400m個人メドレー	高橋 隆輝	前橋育英高2	4分30秒60	2
7	水泳（競泳）	少年女子B	400mメドレーリレー	関口真穂	東京農大二高1	4分15秒86	2
				近藤ちひろ	中央中等教育4		
				秋谷里実	高崎女子高1		
				未廣美月	健大高崎高1		
	水泳（飛込）	少年女子	飛板飛込	近藤花菜	東京・稲付中3	227.70点	2
	自転車	女子	スクラッチ	小林彩乃	日本競輪学校		2
	ボウリング	少年男子	個人戦	鈴木涼平	高崎高3	1785点	2
8	陸上	少年男子A	棒高跳	小池祐馬	前橋育英高3	4m80	1
	陸上	少年女子A	3000m	榎沢和佳奈	常盤高3	9分23秒60	1
	陸上	少年女子共通	円盤投	萩原那緒	太田女子高3	37m58	1
	水泳（競泳）	少年男子B	100m背泳ぎ	三浦玲央	甘楽・甘楽中3	58秒81	1
	馬術	少年	タービー	富山公晴	東京農大二高1	1分36秒14 減点8	1
	カー（スプリント）	少年男子	K-1 200m	小暮知稀	西邑楽高3	43秒023	1
ボウリング	成年男子	個人戦	宮澤拓哉	上武大2	1911点	1	

個人種目得点合計 214.5点

▶陸上成年女子5000m
優勝 西原加純(ヤマダ電機)



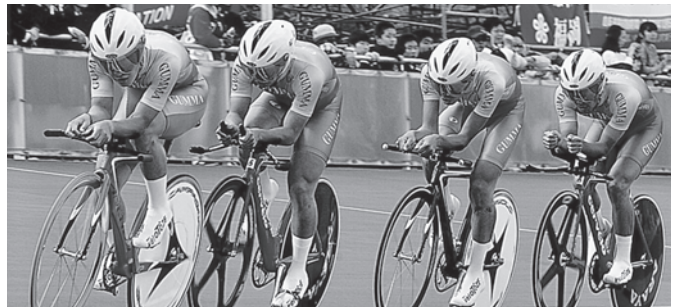
▶ボウリング成年男子個人戦
石川裕大(市光工業) 優勝



▶陸上成年男子円盤投 優勝
堤雄司(群馬総合ガードシステム)
57m25(大会新記録)



▶レスリング成年男子グレコローマン85kg級
優勝 松本篤史(ALSOK)



▶自転車男子4km チームパーシュート 優勝 (左から) 篠田幸希(前橋工業高)、小林泰正(日本体育大)、青木拓穂(高崎工業高)、倉林巧和(群馬グリフィン)



▶ボウリング成年男子2人チーム戦 2位
(左から) 宮澤拓哉(上武大)・佐藤貴啓(サンメイ)

群馬県選手団入賞者一覧〈団体種目〉

順位	競技名	種別	チーム名(選手名・所属)	得点	順位	競技名	種別	チーム名(選手名・所属)	得点
1	自転車	男子(4kmチームパーシュート)	群馬選抜 倉林 巧和 群馬グリフィン 小林 泰正 日本体育大4 篠田 幸希 前橋工業高3 青木 拓穂 高崎工業高2	24.0	6	軟式野球	成年男子	群馬選抜 関 大輔 太田市役所 田口 周平 太田市役所 小西 隆介 太田市役所 岸 修丞 太田市役所 清水 俊介 太田市役所 早川 慶 太田市役所	24.0
2	ボウリング	成年男子(団体2人チーム戦)	群馬選抜 佐藤 貴啓 サンメイ 宮澤 拓哉 上武大2	21.0				別リス語静シニア サテホルテシニア 寺内 弘和 太田市役所 佐藤 太介 関東西濃運輸 五十嵐伸太郎 関東西濃運輸	
3	フェンシング	成年女子(エペ)	群馬選抜 吉澤 千恵 沼田女子高 田村須美礼 佐生生命保険相互会社 登坂 梨乃 日本大1	18.0				坂元 寿蓮 太田市役所 清水 遼 高崎市役所 野口 真生 太田市役所 新井 崇文 太田市役所 廣瀬 将真 太田市役所 上原 壮央 関東西濃運輸	
			ソフトボール	成年男子		群馬選抜 原田 泰光 高崎市役所 小田澤正紀 高崎市等広域消防局 照井 賢吾 高崎市等広域消防局 青山 紀彦 高崎市役所 大井 宗 高崎市役所 深谷 祐太 高崎市役所 小田澤直紀 高崎市役所 松本 健 高崎市等広域消防局 堀口 和保 高崎市役所 石綿 宏輝 関東学園大3 植田 涼 日本体育大2 安田 直希 国士舘大4	44.0		
4	ボート	成年女子(ダブルスカル)	群馬選抜 瀧本日向子 明治大2 栗原 菜摘 法政大3	15.0		高崎商科大学附属高校 遠藤 里菜 3年 長壁 伶奈 3年			
	フェンシング	成年女子(フルーレ)	群馬選抜 吉澤 千恵 沼田女子高 田村須美礼 佐生生命保険相互会社 登坂 梨乃 日本大1	15.0		設楽ゆひな 1年			
5	ソフトボール	少年男子	群馬選抜 井上 悠生 新島学園高3 倉澤 尚吾 新島学園高1 真木 義隆 新島学園高3 高橋 海人 新島学園高2 岩崎 優真 新島学園高3 前澤 和弘 新島学園高2 堀米 健斗 新島学園高2 小野寺翔太 新島学園高1 小笠原真雪 新島学園高1 小田澤一生 新島学園高1 須賀 智哉 新島学園高3 田中爽太郎 高崎東高3 浦野 大夢 高崎東高3	20.0	前橋南高校 岩田 菜緒 3年 飯島 奈月 3年				
			カヌー(スプリント)		少年女子(K-2 500m)	12.0	前橋商業高校 内山 雅治 2年 井野奈央哉 2年 樋口 拓人 3年 徳永 太陽 2年 松本 龍泉 3年 萩原 瞬 2年 下田 大智 3年 岡田 光生 1年 牧口 博二 3年 小澤 豊 1年 齋藤 翔太 2年		
	フェンシング	少年男子(フルーレ)	群馬選抜 武井 倅也 沼田高3 田村浩太郎 沼田高3 江藤 和博 高崎大附高2	6.0	群馬選抜 黒田 凌哉 館林商工高3 相澤 岳瑛 前橋南高3				
		アーチェリー	成年女子	群馬選抜 深澤 菜見 安中総合学園高 佐相 花奈 拓殖大1 小田原彩華 立命館大2	6.0				
6	カヌー(スプリント)	少年女子(K-4 200m)	群馬選抜 秋山利楠美 西巴楽高3 稲垣 夢乃 前橋東高3 阿佐美 舞 前橋東高3 細貝美菜子 前橋南高2	3.0	8	カヌー(スプリント)	少年女子(K-4 500m)	群馬選抜 秋山利楠美 西巴楽高3 稲垣 夢乃 前橋東高3 阿佐美 舞 前橋東高3 細貝美菜子 前橋南高2	3.0
		ボウリング	少年男子(団体戦)	群馬選抜 佐藤 雄偉 樹徳高1 鈴木 涼平 高崎高3			3.0		
	水泳(水球)	少年男子	群馬選抜 内山 雅治 2年 井野奈央哉 2年 樋口 拓人 3年 徳永 太陽 2年 松本 龍泉 3年 萩原 瞬 2年 下田 大智 3年 岡田 光生 1年 牧口 博二 3年 小澤 豊 1年 齋藤 翔太 2年	15.0		団体種目得点合計 253.0点 本大会競技得点合計 467.5点 本大会順位 30位			

リオデジャネイロオリンピック

群馬県選手 出場者紹介

8月5日から8月21日（日）までの17日間の日程でリオデジャネイロ五輪が開催された。日本選手団は金12個、銀8個、銅21個のメダルを獲得し、合計41個の過去最多の獲得数となった。その活躍は連日多くの人に感動を与えた。本県からは、6競技12人の選手が参加し、熱い戦いを魅せた。



1. 塩尻和也選手
(陸上競技 男子3000m障害・順天堂大学)



2. 北島寿典選手
(陸上競技 男子マラソン・安川電機)



3. 内田美希選手
(水泳競技 競泳女子自由形・東洋大学)



4. 貴田裕美選手 (水泳競技 競泳女子10km
マラソン・コナミススポーツクラブ)



5. 志賀光明選手
(水泳競技 水球男子・登利平)

6. 柳瀬彰良選手
(水泳競技 水球男子・白鷗女子高校)



7. 鈴木武蔵選手
(サッカー競技 男子・アルビレックス新潟)



8. 高橋正直選手(馬術競技 馬場馬術・
伊香保バーデンファーム)



9. 見延和靖選手 (フェンシング競技
男子エペ個人・NEXUS)



10. 青木千佳選手 (フェンシング競技
女子サーブル個人・NEXUS)



11. 西岡詩穂選手 (フェンシング競技
女子フルーレ個人・NEXUS)



12. 福岡堅樹選手 (ラグビーフットボ
ール競技 男子・パナソニック)

次の舞台は2020年、東京。ご活躍を期待しています!!

ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

本県ゆかりの選手が一人でも多く日本代表選手として、オリンピック・パラリンピックや国際大会で活躍するため、現行の日本代表選手や2020年東京オリンピック・パラリンピックターゲットエイジの選手たちの活動に対して支援を行うことを目的とし、今年度で2年目の実施となった。

本事業は、現役日本代表選手や日本代表候補選手の高校生・大学生・社会人に対してトレーニング等に係る経費や合宿・遠征費等の補助を行うアスリートサポート事業と、群馬県を代表する中学生選手とその指導者に対して強化指定を行い、競技力向上の意識を高めるドリームロード



事業の2つの事業内容で実施している。

認定式は5月21日(土)にALSOKぐんま総合スポーツセンターで行われ、アスリートサポート事業認定選手21名、ドリームロード事業認定選手17名、ドリームロード事業認定指導者12名、計50名を認定し、児玉会長から認定証が手渡された。講演では、本県出身でバルセロナオリンピックの体操競技団体に銅メダルを獲得した相原豊先生を講師に迎え、「オリンピックとその後」と題して、競技生活での経験や競技を通して学んだことから指導者として必要な資質などをご講義いただいた。認定者は相原先生の話に真剣に聞き入り、今後の競技生活や指導への意識を高めていた。

◀「オリンピックとその後」について講演する相原先生

第1回スポーツ指導者研修会

- 主催 公益財団法人日本体育協会 公益財団法人群馬県スポーツ協会
- 後援 群馬県
- 特別協賛 大塚製薬株式会社 情報提供「水分補給について」
- 期日 平成28年7月9日(土)
- 会場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター 第1研修室
- 参加者 166名

県内の日本体育協会公認スポーツ指導者の資質向上と指導者間のネットワークづくりなど、相互の交流を目的として第1回指導者研修会が開催された。

講演Ⅰ

「スポーツ界の暴力根絶について」

○講師：高崎健康福祉大学 人間発達学部

学部長 森部 英生先生

スポーツ界の暴力根絶についてというテーマで、関連する主な法制を説明し、実際に発生した「しごき」や「体罰」の具体的な事例を交えながら、スポーツ指導中の暴力行為がいかに関違った行為であるかをご講義いただいた。

実際の判例を用いることで、体罰に該当するケースをわかりやすく説明し、現場で指導する受講者は自分自身の指導に置き換えながら、森部先生の講話に熱心に耳を傾けていた。



◀「スポーツ界の暴力根絶について」講演する森部先生

講演Ⅱ

「女性アスリートの健康管理」

～陸上長距離の女子チームの毎日のトレーニングと精神衛生について～

○講師：ヤマダ電機 女子陸上競技部

監督 森川 賢一先生

森川先生は平成24年にヤマダ電機 女子陸上競技部 監督に就任し、全日本実業団駅伝3位、日本選手権10000m優勝・準優勝など輝かしい実績を残されており、そうした経験を踏まえて、女性アスリートの健康管理やトレーニング方法などについてご講義いただいた。

受講者は、森川先生の講話に実際の指導現場に活かしているように耳を傾けていた。



◀「女性アスリートの健康管理」について講演する森川先生

マネジメントコーチ・スポーツ推進スタッフ・ジュニア指導者委嘱式

平成28年度マネジメントコーチ、スポーツ推進スタッフ、及びジュニア指導者の委嘱式を、4月9日（土）にALSOKぐんま総合スポーツセンターで開催しました。

マネジメントコーチ38名、スポー

ツ推進スタッフ1名、ジュニア指導者4名を委嘱しました。

委嘱後は、「やる気にさせるコーチング」と題して群馬大学教育学部准教授の西田順一先生による講演が行われました。目標設定の重要性や

選手のモチベーションをあげるコミュニケーション力の必要性等を講義され、参加者は真剣に耳を傾けていました。

▼「やる気にさせるコーチング」について講演する西田先生



ぐんまスーパーキッズプロジェクト2016

本事業は、本県の競技力水準をより一層向上させるため、ジュニア選手の発掘・育成を目的として平成23年度からスタートし、今年度で6年目の実施となりました。

県内の小学校4年生を対象に公募を行い、5月29日（日）にALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館を中心に開催された選考会に

は、トップ・アスリートを目指す103名がエントリー、7種目の体力測定と面接を行いました。

選考会終了後にキッズ選考会議、及び第2回選手強化委員会において審議した結果、72名が新スーパーキッズとして認定されました。

認定式は6月25日（土）に群馬大学教育学部で行われ、認定者には認

定証の授与とともに、2014・2015年に認定された先輩キッズとお揃いのユニホームが配布されました。その後の研修会では、選手・保護者に日本オリンピック委員会 強化スタッフ・高崎健康福祉大学 健康栄養学科 教授 木村典代先生が、「強くなる選手は食事にも気をつかう！」と題した講演を行い、大切な試合に向けての準備、更には、一流選手は普段から食事に気をつけることが重要であるとの講話がされました。



▲「強くなる選手は食事にも気をつかう！」について講演する木村先生

▶選考会風景

スポーツ体験事業

プロスポーツ選手等との交流教室（ザスパクサツ群馬）

- 1・日時 平成28年8月18日(木)
11時～13時
- 2・会場 ALSOKぐんま
総合スポーツセンター
「ふれあいグラウンド」
- 3・参加者 94人
本事業はプロ選手との交流を通じ

て、実体験から夢と希望をもらい、高いレベルの技術を子ども達に伝えることを目的として開催しています。今回はザスパクサツ群馬の監督、選手との交流事業を開催し、申込み受付後20日間で定員になるという盛況ぶりでした。参加した子供たちは

プロ選手の技術に目を輝かせながら楽しそうに指導を受けていました。次回も、群馬県で活躍しているプロチームとの体験事業を予定しています。



チャレンジスポーツ教室

本事業は、今年度で3年目を迎える事業で、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快感、楽しさを体験するとともに、本県スポーツ人口の底辺拡大を図ることを目的としています。

県内の小学生（一部競技は中学生も含む）を対象に、今年度は下記14団体で実施されています。

専門の指導者や現役の選手による、基本動作をはじめとした指導が行われています。

実施団体	5 レスリング	10 ラグビーフットボール
1 サッカー	6 ソフトテニス	11 アーチェリー
2 ボート	7 卓球	12 スポーツチャンバラ
3 ボクシング	8 ソフトボール	13 高崎市体育協会(体操・サッカー)
4 新体操	9 弓道	14 沼田市体育協会(陸上)



◀活動風景(上からソフトテニス、弓道)

群馬県総合型地域スポーツクラブ

地域の皆さん応援してください

つまごいスポカル

クラブの目的：「人が集い、仲間とつながり、みんなが元気になる」をモットーに未就学児からお年寄りまでみんなが楽しめるクラブです。

自立4年目の今年から英会話教室も加わり、クラブ名を「つまごいスポーツクラブ」から「つまごいスポカル」へ改名。さらなる躍進を目指します！



活動の紹介：バスケットボール、ミニバスケットボール、ヒップホップダンス、フラメンコ、クラシックバレエ、インディアカ、キッズくらぶ、リトミック、スポーツ吹き矢、トレセン、今年から開催のZUMBA、キックボクシング、英会話と試行錯誤をしながら一人でも多くの人にスポーツと文化のふれあいの場を提供したいと考えております。



参加は自由、体験もお気軽にできます。詳しくは事務局にお問合せ下さい。

設立：平成25年2月23日

会員数：170人

Eメール：info@tsumagoisports.club

ホームページ：http://www.tsumagoisports.club



第43回

日独スポーツ少年団同時交流派遣



日独スポーツ少年団同時交流は、日本体育協会日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースの間に夏休み期間中に相互の文化や民泊を取り入れ生活習慣などを体験するための交流事業で昭和49年から行われ、今回で43回を迎えました。

本県では隔年で受け入れをしてお

り、22回目となる今回は、7月30日から8月3日の4泊5日で伊勢崎市(中毛ブロック)で9名のドイツ団(指導者1名・団員8名)を受け入れ、「私たちにできるフェアプレー」をテーマに柔道のスポーツ交流をはじめ、県スポーツ少年団ジュニアリーダーとディスカッションするなど日

本の文化に触れる様々なプログラムを実施しました。

当初は緊張した面持ちでしたが、日本とドイツの言葉・習慣・文化の違いを楽しみながら心を通わせることができました。そして最後は2020年の東京オリンピックでの再会を誓いました。



第33回県民スポーツ祭

第52回群馬県スポーツ少年団大会結果

種目	期日	会場	種別	順位			
				1位	2位	3位	4位
バレーボール	8月6日(土) 7日(日)	高崎市樺名体育館 他	小・男	あずま男子(伊勢崎)	箕郷SWAT(高崎)	群馬大和(太田)	富士見ジュニア(前橋)
			小・女A	高崎ドリームス(高崎)	玉村ミニ(玉村)	六郷JVC(高崎)	富岡南バレーボールクラブ(富岡)
			小・女B	高崎VBC(高崎)	八幡フレッシュ(高崎)	笠懸VBC(みどり)	藤岡第二小(藤岡)
サッカー	8月6日(土)	前橋市大胡総合運動公園 サッカー場	中・男	FC小野(藤岡)	鬼中サッカーサポート(藤岡)		
ミニバスケット	8月6日(土) 7日(日)	ALSOKぐんま 総合スポーツセンター ぐんまアリーナ 前橋市宮城体育館 千代田町総合体育館	小・男1組	新田(太田)	あずま南(伊勢崎)	吉岡(吉岡)	トマホーク(前橋)
			小・男2組	桐生桜木(桐生)	前橋中央(前橋)	館林城沼(館林)	赤堀(伊勢崎)
			小・男3組	城東ベガス(高崎)	桐生境野(桐生)	高崎中川(高崎)	ARCS(太田)
			小・女1組	高崎中居(高崎)	吉岡(吉岡)	オール東(前橋)	館林南光(館林)
			小・女2組	西部グローリー(高崎)	桐生広沢(桐生)	高崎北部(高崎)	伊勢崎種蓮(伊勢崎)
			小・女3組	大泉スターキッズ(大泉)	桐生西(桐生)	前橋中央(前橋)	邑楽町KID(邑楽)
ソフトボール	8月6日(土) 7日(日)	桃ノ木川グラウンド 荒砥グラウンド	小・女	薮塚チェリース(太田)	強戸キャッツ(太田)	宝泉プリティーズ(太田)	安中リトルメッツ(安中)
			小・男				
柔道	8月7日(日)	ALSOKぐんま 総合スポーツセンター ぐんま武道館 第1道場	小・男女A	前橋中央柔道(前橋)	塚沢柔道(高崎)	大胡柔道(前橋)	太田南柔道(太田)
			小・男女B	城南柔道(前橋)	伊勢崎柔道(伊勢崎)	富岡柔道(富岡)	伊勢崎中央柔道(伊勢崎)
			小・女	塚沢柔道(高崎)	富岡柔道(富岡)	吉岡町柔道(吉岡)	新里柔道(桐生)
			中・男	大胡柔道(前橋)	堤ヶ岡柔道(高崎)	塚沢柔道(高崎)	富岡柔道(富岡)
			中・女	城南柔道(前橋)	堤ヶ岡柔道(高崎)	新里柔道(桐生)	塚沢柔道(高崎)
剣道	8月7日(日)	ALSOKぐんま 総合スポーツセンター ぐんま武道館 大道場	小・団体	前橋市合同チーム(中毛代表)	薮塚本町剣道教室(西毛代表)	薮塚本町剣道クラブ(東毛代表)	4位 川郷村スポーツ少年団(北毛代表)
			小男女4年	加藤陸斗(みやざ少年剣道教室)(前橋)	武藤圭汰(富士見剣士会)(前橋)	阿部响乃果(白沢少年少女剣道教室)(沼田)	深澤慎之助(みやざ少年剣道教室)(前橋)
			小5・6年男	富田宗汰(太田少年剣友会)(太田)	石岡秀伍(薮塚本町剣道クラブ)(太田)	長野真拓(太田少年剣友会)(太田)	吉田佳樹(高崎剣道教室)(高崎)
			小5・6年女	品田明里(前橋剣修会)(前橋)	中川奈美(群馬県武道館剣道教室)(前橋)	小沼七海(新里剣道教室吉田道場)(桐生)	梅原花歩(東剣友会)(伊勢崎)
			中・男	木村恵都(薮塚本町剣道クラブ)(太田)	須永俊哉(薮塚本町剣道クラブ)(太田)	清水大輔(新里剣道教室吉田道場)(桐生)	木村理吟(薮塚本町剣道クラブ)(太田)
			中・女	新井遥花(笠懸剣友会)(みどり)	長谷川雨奈(新里剣道教室吉田道場)(桐生)	小林沙那(新里剣道教室吉田道場)(桐生)	鈴木愛梨(前橋剣修会)(前橋)
卓球	8月6日(土)	高崎中央体育館	小・男	薄根卓球(沼田)	吉岡ジュニア(吉岡)	粕川ミラクル(前橋)	中之条小学校卓球部(中之条)
			小・女	粕川ミラクル(前橋)	中之条小学校卓球部(中之条)	東小(吾妻東)	薄根卓球(沼田)
			中・男	邑楽町卓球(邑楽)			
			中・女	薄根卓球(沼田)			
レスリング	8月7日(日)	ALSOKぐんま総合 スポーツセンターレスリング場	小・男女	明和レスリングクラブ(明和)	赤羽ジュニア(館林)	おおたスポーツアカデミー(太田)	
			中・男女	明和レスリングクラブ(明和)	邑楽Jrレスリングクラブ(邑楽)	おおたスポーツアカデミー(太田)	
軟式野球	5/7・14・21 6/11・18	桐生球場・広沢球場	小・男女	菱・境野子供会野球部(桐生)	尾島ビガーズ(太田)	リトル大胡スターズ(前橋)	広沢子供会(桐生)



第33回県民スポーツ祭 群馬県障害者スポーツ大会2016

今年度は残念ながら雨天により、陸上競技・軽スポーツ競技が中止となりましたが、9月18日(日)に卓球競技、25日(日)にアーチェリー競技と水泳競技、10月2日(日)にフライングディスク競技が、群馬県ふれあいスポーツプラザで盛大に開催されました。

大会には、第16回全国障害者ス

ポーツ大会「希望輝いわて大会」に出場する選手も参加し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向



け、より一層盛り上がる大会となりました。



平成28年度 オリンピック・パラリンピック選手支援事業

本県スポーツ選手が、オリンピック・パラリンピックや世界大会で活躍することは、県民に夢や感動を与えるとともに、元気な地域づくりにも貢献しています。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、今後、群馬県スポーツ協会として、オリンピック・パラリンピックを目指す本県スポーツ選手に対して積極的に支援を行うことが重要であると考えております。

寄付金をいただいた企業・団体 平成28年11月30日現在

糸井商事 株式会社

株式会社 小島鐵工所

児玉企業 株式会社

医療法人博仁会 第一病院

群馬トヨタ自動車 株式会社

高崎信用金庫

株式会社 サンワ

公益社団法人 群馬県医師会

株式会社 上毛新聞社

公益社団法人 群馬県歯科医師会

株式会社 メモリード

温かいご支援に心から感謝いたします。

いざというときしっかりサポート

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険

対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成28年4月1日午前0時から

平成29年3月31日午後12時まで

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。

詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。



加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動	A1	800円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動		
	上記団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動	C	1,850円
	スポーツ活動の指導・審判		
	※右記年齢の判断は、「平成28年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の満年齢を基準とします。	B	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎	A2	800円
	※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。		※65歳以上の方も加入できます。
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円

公益財団法人 スポーツ安全協会 群馬県支部

(群馬県総合スポーツセンター本館内)

〒371-0047 前橋市関根町 800 TEL027-237-0832

電話受付時間: 午前9時~12時、午後1時~午後5時15分(日、月、祝日を除く。月曜日が祝日の場合は、翌日が休日となります)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

資料請求は、インターネットより受付けております。

スポーツ安全協会 検索

インターネットからも加入受付を行っております。
詳しくは、ホームページをご覧ください。



携帯電話から資料請求ができます。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(平成28年4月))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上

平成28年3月作成 15-T11270